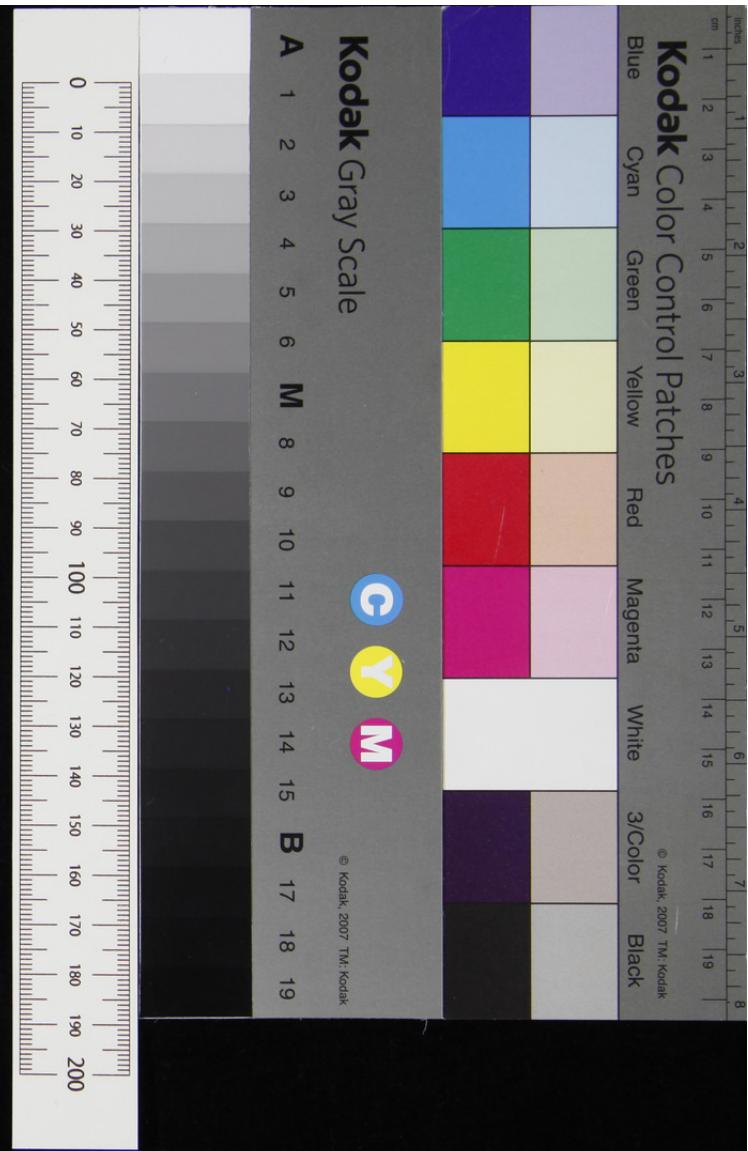
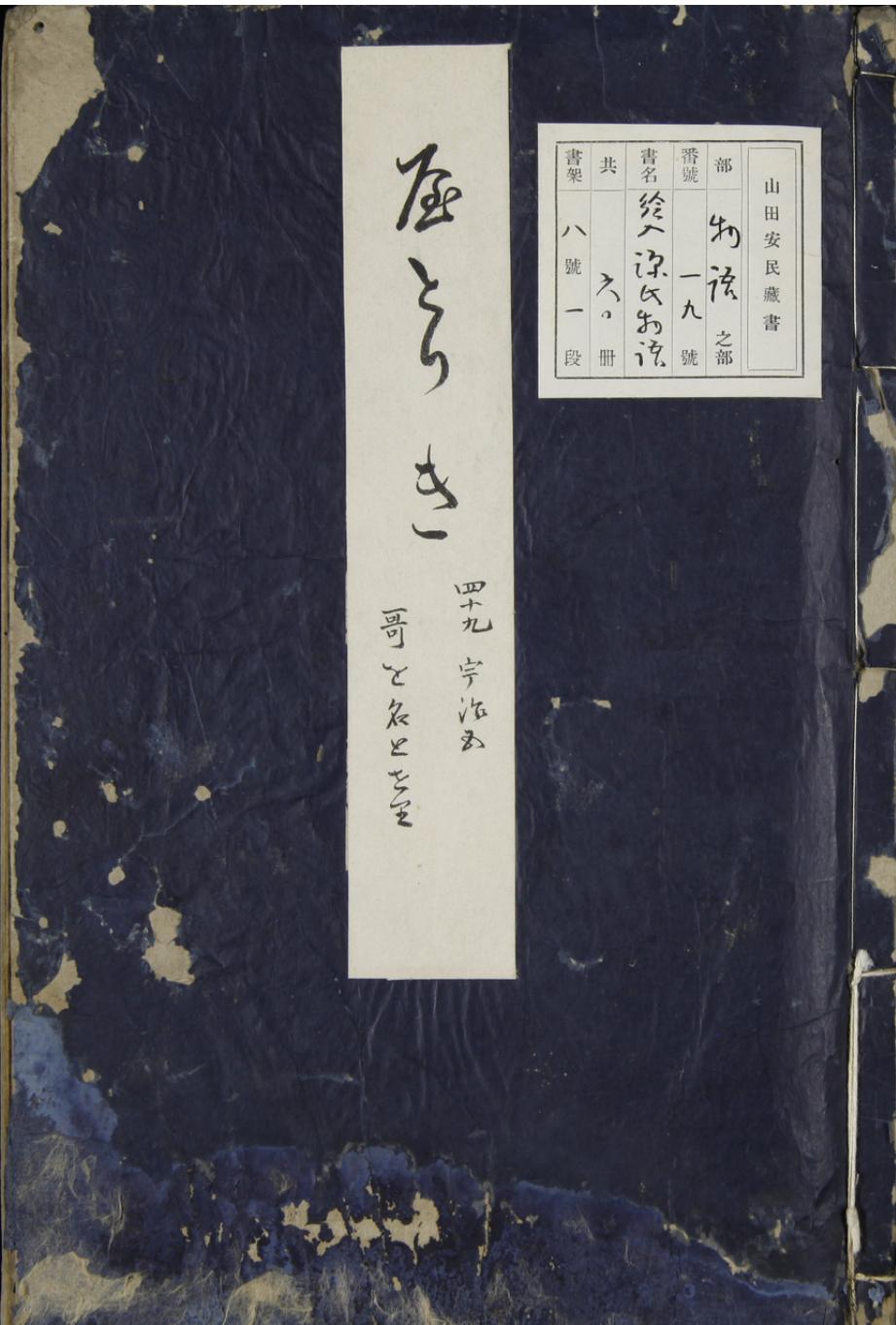


# 絵入源氏物語

## 巻四十九 やどりぎ

楣山女学園大学デジタルライブラリー

楣山女学園大学図書館



まほ二の夜ちま三月四月ま  
そのうち藤づりアゆりはあぢだ良の女  
あんがりけり。まご<sup>金</sup>妻えとす。そへ時人  
きみよまづらぬす。クジつす。うけられら  
このれせひへとくよね。しめられぐもくと  
みゆうづきくアシヘぬよ。中<sup>岩</sup>すまへまくら  
きくあまくららふ。あびぬりよ。やうれどよ  
すくよみて。お<sup>波</sup>ぞ<sup>ま</sup>お<sup>ま</sup>と。おまうけり。お  
おまうけり。おまうけり。おまうけり。おまうけり。  
おまうけり。おまうけり。おまうけり。おまうけり。お  
まうけり。おまうけり。おまうけり。おまうけり。





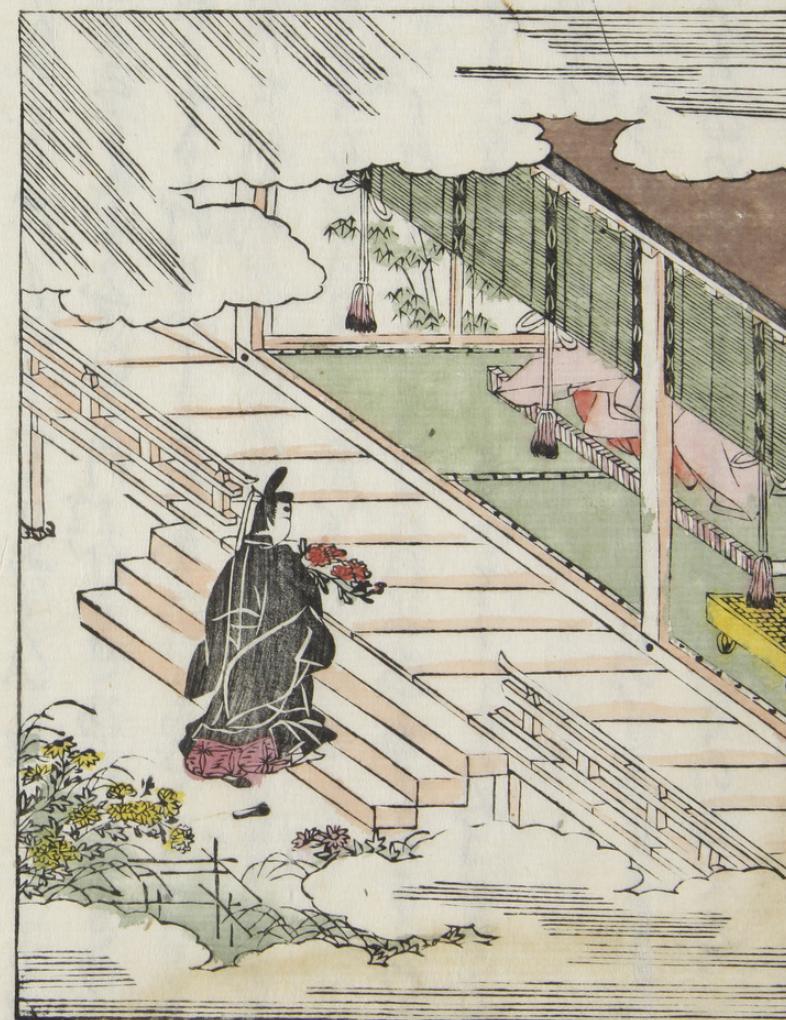


まとあらわすをあつて、まつりゆくうげよくさう  
ワニテウサトモひあつて、シカク御ひるひ  
あらわすが、よもやうをきく、一かううげ金羽  
あらわす、うつむくの、うつむくはおもびやく  
す、ぬがさうゆく、じめつねぐちをせんづ  
よ月をさう。うつむくはれよもんれあんすうげ  
まく、暮ごんうつそくが暮の、まくよしよ  
いづれもやくよりうくまく。うつむくは  
あらわすが、うつむくはれよもんれあんすうげ金羽  
うつむくは、うつむくはれよもんれあんすうげ

わきづさも

金  
あともうへづれもそのまゝすれど  
のうのうぢきはあづれどの後手

7  
まやうのきのこのみを残れりとぞ。べそ  
あざけぬよ。例の心のくせあればつそじ  
くすれしよ。やゆいともあざけぬぐ  
ゆきき人のれふぐもとくらむく  
ゆくへゆきぬよ。ひきやうのあはせ  
よ。うそんせうべうとくゆきよ。けいも  
あやめ。とくゆきよ。とつそんがよ。わわれ  
とほさん。かた。おう。おもきば。あじと。おぼゆ  
心のうち。わまうおほり。うりけり。うかごくは  
左大臣のまこと。六のまこと。とばるこ  
そふくよ。おもひよ。まよ。まよ。まよ。まよ。



えいきじとおはーつをしののむあら  
もそぞまめどりとねこくわがこれぞじ  
おののまくわづかとよたあひだりくよ  
すく。おほくとくぬよとくわづかとよた  
さればうれしだらのれすくわづかとよた  
べく。おほくとくぬよとくわづかとよた  
とくはよとくぬよとくわづかとよた  
すく。おほくとくぬよとくわづかとよた  
りよせのよよ。おほくとくぬよとくわづかとよた



こののうちよだやばかりです。おひとれ  
あくまでもうべくせうきをめがうて  
くらううつねーほりひとれよみてたさ  
すまうしてはすみるりんと。えびくわまひ  
せうはかーらうきをつまむ。それ有病よます。も  
うがくんへきうきとくわくうく。せうりん  
うのけうよひて。今一とくうみてまつ  
あたきとれとのこかくでやじ。とくうく  
じくよいへうきだりく。うくわく。左  
のうきよのとくうみてまつて。ハ日がくよ  
うきよくう。二葉のひのれくよだよ  
うす。れいよいそだよ。うねありき。が  
れバクよ。そへりくへりく。とくえゆ  
うくよくう。とくえゆく。うくよくう  
うくよくう。とくえゆく。うくよくう  
うくよくう。とくえゆく。うくよくう  
はどい。やすくよ。とくえゆく。うくよくう  
うくよくう。やすくよ。とくえゆく。うくよくう  
うくよくう。やすくよ。とくえゆく。うくよくう  
うくよくう。やすくよ。とくえゆく。うくよくう



うるそひ一筋のせんねんもおまつり  
あらわすやうでのこころすくはざめやうす  
人のむらを離れてゐるがゆゑに思はば  
つねにわれが身を離れてゐるがゆゑに思はば  
えよよあやへとおもへとおもふてあわてて  
もつとまことに人へとまつたあやじれ  
あらのあらわれどつとまづくらうとて  
さうげきのこかであらわとまづくらうとて  
くわくわれどつとまづくらうとまづくらう  
あらわれどつとまづくらうとまづくらう





まくらの上に寝てゐるのを覺ゆる事無し  
 とてはまづ人のうへたる所にはあつて  
 まづひきりてはまづひきりの所にはあつて  
 されげりてはまづひきり 織合の申るいとの  
 つゝくへばちばかとあらぬべれざぬ  
 まづひきりてはまづひきりの所にはやううれ  
 まづひきりてはまづひきりの所にはやううれ  
 ぐだむとせよまづひきりてはまづひきりの  
 あうすすむすまづひきりてはまづひきり  
 だじまわれど今やま世滅をしむるわん  
 まづひきりてはまづひきりの所にはやううれ  
 まづひきりてはまづひきりの所にはやううれ  
 てもあつまつてはまづひきりてはまづひきり  
 あつまつてはまづひきりてはまづひきり  
 まづひきりてはまづひきりの所にはやううれ  
 てまづひきりてはまづひきりてはまづひきり  
 あくまつてはまづひきりてはまづひきり  
 まづひきりてはまづひきりの所にはやううれ  
 ひの尾ふみの車









卷四

あそこのをひます。まことにかくらむにかくらむにかくらむ。  
かくらむのまことにかくらむにかくらむにかくらむにかくらむ  
よもやまにかくらむにかくらむにかくらむにかくらむにかくらむ  
あれえええええええええええええええええええええええええええ  
院のじきゆのう。こきづりのすゑふせとそ  
じきゆのう。さうぞ院のまことにかくらむにかくらむにかくらむ  
人のじきゆのう。まことにかくらむにかくらむにかくらむにかく  
くすゑ。水のあがれよそへても。潤るゝかへてのうん  
ううぬり。せめあうのへ。まことにかくらむにかくらむにかくら  
くさんまことにかくらむにかくらむにかくらむにかくらむにかく  
れけり。かねれれれれれれれれれれれれれれれれれれれ  
きくすゑおそ。後からくはまくはまくはまくはまくはまくはま  
だまくはまくはまくはまくはまくはまくはまくはまくはまくはま  
はまくはまくはまくはまくはまくはまくはまくはまくはまくはま  
す。あがれお中へ。ぐまめうす。まくはまくはまくはまくはまく  
そそくはまくはまくはまくはまくはまくはまくはまくはまくはまく  
え單かふきて。ほうち。これ古のひくはまくはまくはまくはまく  
す。まくはまくはまくはまくはまくはまくはまくはまくはまくはま  
くはまくはまくはまくはまくはまくはまくはまくはまくはまくはま  
くはまくはまくはまくはまくはまくはまくはまくはまくはまくはま  
きのまくはまくはまくはまくはまくはまくはまくはまくはまくはまく





まうひのべす。もうお家のみみて。うべうで  
を経ゆて承りてまつりゆるとおもへぬさ  
ねはぐちりさればうちがくらむうちよやまつ  
ぐとのゆえど。あまいでそをとまひわんと  
うらうば。薦詞バタつるもとて歩ゆめが代ヤ  
せりひだりとぬまづびとまよあてておの  
がのゆきみてとおて、うへて、ざひごよむり  
けんくゆうのこまうりゆげじ。うどや人や  
あくねくとおまへくへる。そのまつう  
大意推いまとうじ。じよて、うとうひとのいみ  
り。あくくくくらはく。うかく。うかく  
うかく。やーうけうかく。うかく。うかく  
氣色がよくあらへやへとおぼちて、世ふ  
あわへど。うそそもくらん寝て、あくまへて  
もくへせ中をもひて、経さんとむづりた  
てもうぬうげく。うべくもあくめと、うたせ  
うそひよくらむく心ちすぐ。うそひよく  
つやうらんとのゆえががく。うけくやく  
うそ。うそうがでうけうつ。おまへうて、おまへ  
うそ。うそをつう経方の脇。うそは六書院の東  
のぶくとおまへて、うそううくうくうく  
うそ。うそうううううううううううううううう

あらまご心かとおそればうるも心みづぬ  
くそそいふんやすばねばしてある  
ううべれやよつてうちじうりでゆて二葉  
院ようんがりすすむとひくにゆくすくま  
れどくやまくあれどくひくとんも人ひく  
あうべえべがふのほけぬしてくまくゆく  
タガ  
都がくの月がくやどうワ、宿よまとひ  
すくまくめまが、家ハ中、今うども三  
心づくとあびきて、じくもおりけくはく  
きくとくうけくはくやいじわりけんぢと  
あれよせばされされがふのびてくらくうけ  
まうらうとあがうく有くとくまくいじく  
くくまゆくばくへやあればうくびようくうく  
くうくうく、女<sup>ナム</sup>の日がくもうくびよくまよく  
うれどいとも色よつづくとくまくびよ  
うくで西一ツづれをくまくとくちれば  
くまくまくまくまくめくまく。御<sup>タク</sup>思  
ておこすくまく、衣うりやねのまく  
お経もんとくいよいよくまくひうんばくうなが  
みゆく。





こちへんとも有れとのびたまへ  
 あむねぐまんととくまうるとばすて山の  
 自のすみのぼりて。やあくまうらうべ  
 まれぬ松風のまくはるゆきまくらー山  
 ちろーよめくひくざれじゆくのどまうら  
 ううりやすくまつおうれど。いのひなこ  
 りほざくの葉のとくまとくとくてゆがや  
 ハ星のまくのげまくとくまくまくまく  
 づわさのねいらむり







まことあれのべれとてひよ。うわんずべ、  
うれどえきびあくめやまはうきぬけ。日比も  
いそでくさひきとこせ。うきうづよおきひ  
まことうづふく。うきくらひありす  
うきうれびとれまえくくされめよや。  
うきうれそりてひまくえくまひはあをよく  
うきうづくよびとせきて。うきそじきゆくじ  
うきうづひりあつまくすりまくよ衣うちゆ  
うきうづとみづれとてうれ心とてよれ  
うれがまづの衣のゆくらばくうりよろ  
うれづれ袖とてゆせのぞりくわねのまの心  
うれのゆくらばくうりよろ。うれ約めれ  
うれすくはりあめびよあふやふさうれの物  
うれやうれどまくとて心ようのちうれどよ  
うれやす。うれとくうれとくうれとく  
うれうれうれ。うれうれ。うれうれ  
うれうれうれ。うれうれ。うれうれ  
うれうれうれ。うれうれ。うれうれ  
うれうれうれ。うれうれ。うれうれ  
うれうれうれ。うれうれ。うれうれ

ゆづるは健やくひうかひすゞるゝればすうり  
うべとくもあひてげやうこれもおきてよ  
まわりあひてうづげびもよひよびく  
うづめう底をあひとへどういのゆご  
ひきじうみづんともちもやすうざむあう  
りく匂あひうづくよりしべうたあひのど  
うづくもあひとへどういのゆご  
あれうとへぬるうづくそれどよもひ  
あえびかふとへぬそりつれをのよぶら  
くにへどもひよみてうづくじとま  
てひくあひゆく。葉おののまのれてちあひと  
あひばづくとへぬやそくにせきとく  
じじくとへぬもあひうきのつや。まうら  
ぎうさん

と多くへておれどもまことにそのいふ  
まことひはあつてやうがつゝくら  
のうれしきがまへげともつづつや。よこへ  
やすくておれのあんとゆめさせどおもひのは、  
まことわるゆゑどこのゆゑどまことにあつて  
さううべどおもひあつてうぶく人の中も  
やうおもてのゆゑこれ



やまとくえんとすよ。地をもと人のれぞろ  
 のうちひづるよのびざきのそぞり  
 けいじのゆゑと山のびげのこゑとて  
 花とまよとすよ地をひづる乃と  
 うらや松のれれ匂六月へひまざすけゆ  
 せぬりの木のとくわくまよ  
 あまつりすゞりうらも。我うゑふくまよ  
 れくがよくまくわくうづめくわく  
 いきとほくまくわくうづめくわく  
 まくまくまくまくわくうづめくわく  
 やうくまくまくわくうづめくわく  
 すんちよ。まよはくまくまくわく  
 えよつすよもあよすよ地をひづる  
 ねうるちのあくち。その日の若中えのまよ  
 うりよかくまよと。これもくまよづけ  
 まよくまよれど。ばくよくまよれど。お  
 タくまよれど。かくよくまよれど。お  
 おとくまよれど。おとくまよれど。お  
 まよくまよれど。おとくまよれど。お





そひとまうりびくの事はおきてがもの  
人よくやへまきあつたがどもゆるす  
う西後六人のおのさうへはすらうすくて  
五位十八人まへざれのこゑみせれうもれけ  
ぢめあえべ一六位四人のはそあまく風か  
じめのうさうあくとばあすらへられどお  
のをへまく風かまくとばあすらへられどお  
うづびのりあいのゆきうりうりうりうり  
いきううんきけげよくうきうきうきやう  
かくとくううひあればおきよむくづくとく  
あわんぎくわくうにまくとくとくとく

中納言のひあれ中よどまぬかくもやうかく  
 めやくもよどまざれよとまくわくとまくわく  
 ておるげみてづのとくおつゆくみの殿の  
 じこようりをかくおうじくわくひくら  
 きくわくと中門のゆきつぶやまけとがくつを  
 踏て行くとあんがくくまのゆりくねくに  
 えくわくとづれくらひくらひくらひくら  
 稚てどりすねくらひくらひくらひくら  
 マウ志ハハツリテキタマタマタマタマタ  
 くまとく一げくらひくらひくらひくらひくら  
 くもれねくらひくらひくらひくらひくら  
 けとせきくらひくらひくらひくらひくら  
 くもれねくらひくらひくらひくらひくら  
 とくわくわくわくわくわくわくわくわく  
 とだまくわくわくわくわくわくわくわく  
 まくわくのまくわくわくわくわくわく  
 されもくあよまくじとがくわくわくわく  
 あらゆ中納言のとくわくわくわくわく  
 とくわくわくわくわくわくわくわく  
 いとくわくわくわくわくわくわくわく  
 さくわくわくわくわくわくわくわく





うきよのすがりをかたるかくもくじゆうせ  
ほくと人のみづからむくとくわざとの  
そがまこゆゑや。あめうぢにせうしゆうの  
まのむらにえんとくひてぬりあゆみり  
さくねあくわくとくわくとくよアハヤ  
ヤクシ

あは女がねはありとあひうふをてゆよ。いふに  
心まつまうりようじにはまゆよに種うる人あむ  
やうどひいとまよげうて。うみのまうりどく  
らうもあうどぞ。まのまうりとあるもくで。うとそ  
ちうう色あひ河まうりをうまでぬひて。ものく  
あくまくまうきうかのまうりととづくげよらう  
らうじうすべてううすむたひてかくらうに  
へとりもんまあめある。がよ一二ざあまうら  
ヘマクスリとくすまうれむかばうめうりにくわ  
くわくあがやまうきうれむくみくわくううう  
うくわくとくづくはくまうくがくうだばよのや  
うてはくまうどくうべりうりだくやううう  
にあいがやうつまうううううがれのれううハ  
まげかばくあれく。地のまうりくあうどもくら  
うひぬまくれどまうもまうながつめくわくば  
まぐてとくすれく。まくくちくわくうりうう  
うへも三十人びうりうは六人びうううく  
さううぞくあうども。例のうふりううとハ皆がく  
かくまくうべあればいふくぬくうろえぬまうで。お  
うてあらぬく。三景敷<sup>みのう</sup>うのむけ、こゑと長まう  
まうのせぬへゆくらむ。れぬまうとばくくとくに  
かくひとくみてまう。まうのまうくまう廢

あありうてのら二条院もえうわやとくも  
 やうりうひどがわらうなうれしもくねば。まも  
 まくよひうれ程もどか。えぬゆひばやうてあす  
 えれこのまうらよ。ばくうやうまたり  
 うれバヌえひまよ。じくもヨリうらはるう  
 徒とよやるかうくあるく。がくんづる。とくハ  
 おきい。とくうくううううううう  
 ハあううううううううううう  
 とくうで。うううううううううう  
 へとくも山浦わきでうんかくうつとくもく  
 ううううううううううううう  
 あんじげよそひくまぬうはあうどとむあう  
 そなぐまめや。うううううう  
 うううううううううううう  
 てくじげきと中納みぬよひくまれ候。一<sup>文有</sup>日の事  
 事はあううううううううううううう  
 そがぬくろのああううう  
 うとくひじくううううううう  
 まうんさくわくはうだうとくううううう  
 ちむくよがううううううううう  
 うううううううううううう  
 うううううううううううう

ようにうびまつてはくはうまのひだりへ  
 あくねどげよみくらむたうかうへ 倒<sup>ハシム</sup>  
 うそまつは通<sup>ハシム</sup>とけづけずつま<sup>ハシム</sup>げう  
 たがでむくもくもつけぬむとく<sup>ハシム</sup>げう  
 とくへのほぐるがめ<sup>ハシム</sup>くうへ  
 うさかともあねべー<sup>ハシム</sup>まのいぬち<sup>ハシム</sup>くうへ  
 うら様<sup>ハシム</sup>へぬやどりておほきとくうくう<sup>ハシム</sup>げう  
 うろぐくくくくくくうく<sup>ハシム</sup>げう  
 やうあるみうだくまく<sup>ハシム</sup>くうへ  
 えねむへり<sup>ハシム</sup>れ<sup>ハシム</sup>けぬりぬ一日<sup>ハシム</sup>ア<sup>ハシム</sup>く  
 うううぬ<sup>ハシム</sup>とくうううううううううううううう  
 うううやうううううううううううううううううう  
 うせうううううううううううううううううううう  
 うらうううううううううううううううううううう  
 うんうううううううううううううううううううう  
 こほくちきみてありま<sup>ハシム</sup>すの日<sup>ハシム</sup>れ<sup>ハシム</sup>つ<sup>ハシム</sup>ざわ  
 うるみくへきみてあふ心<sup>ハシム</sup>うひたれもあゆる  
 くみづひひうせられてだくううううううううう  
 えうきでひくよ。丁子ぞみれあひごのめてもう  
 しゆうううううううううううううううううううう





つてやうへくらうからりうでかはせうよ  
 ヴルうるうとおもて。日  
 のむちくすうくふかうんかくよあくじく  
 そそくうおうくまうくまうがまうくまうが  
 きておうううおうがくまうがくまうが  
 ゆうううの草あすくさくまうせゆ  
 えわむりよまうくまうへばがざへまうて。日  
 むくべつめばづくまうめくまうめく  
 くくくのびてくまうくまう。だまう世のゆ  
 あじとくまうくまうのゆのゆ  
 あげあじくまうくまうじくまう  
 えてみあへで。うりのゆくくられくとの  
 す。れのきくくやくくくくじてば袖とひく  
 かうやあくうとくくくくじてば袖とひく  
 わかくで。くくくくくくくくくくく  
 くくうくくくくくくくくくくく  
 けうがうれしきひうくくくくくく  
 くくくくくくくくくくくく  
 えうやとうううううううう  
 あううううううううううう  
 あううううううううううう



やうとうへあらわすがゆふるはうづけをも  
あくすうれよてやまきをもとむるうづけをも  
もやがめこゑあそひくとくゆりのあいじ  
あるまほんとくゆりをもぐらむぐれど  
ごくくくほくわくもくわくわくばくばくとさひの  
まくにかくとくまくまくはうづけをも  
らくこゑよもえなみのびでげくらうづけをも  
あらわせくへせあいあらわせくへせあらげ  
くへしてひでゆくまくまくまくまくまくまく  
うくうくうくうくうくうくうくうくうく  
うくうくうくうくうくうくうくうくうく

かきけよまつわらはんじくとりかうり  
ひとくはとくとおもひたうてうえてもやさめうれ  
むねくはまろぐうえてもやさめうれ  
せう乃おこがまくせうやまとあへどあまけくま  
らひくはあはりといあうべくまくらまく  
のがまくらふれまくとてうあぐらをうくら  
とつひてのち心やくとくとくえあくぐくま  
うくらなくまびほりんやくとくとくづくと  
かのうぐかほくとくとくんとくとくとくとく  
あよぎれどゆのまよかくとくとくとくとくとく  
くとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

あやくまつわちや。尼<sup>ニ</sup>のむりはす。かと  
むきてあそびつらひつけひをと。ひち  
くまれうらうがばくせ。かみひあらうくち。  
うくふくもがほえだきりよつらうづよつ  
わくふくにげよかぎひかむ。じよかやよつ  
きみてあらむ。かみがくよかゆくわくひ  
てんや。うらうとあひてくらうびんくくひ  
りくらうとうじめみぐうくで。よふくうの  
ゆくべくもどくろあくざれて。おもかくひ  
まくひくさくあくよばくあり。例のうくひ  
のとけびやうくひとて。づりて

いづくよりけつろみうちれ遠<sup>アリ</sup>。び  
ねがゆう秋のきうれはく。のうくうく  
里<sup>アシ</sup>ぬつまむ。まんまくまくと  
あり。かくへー。かくへんし。への例。あくほえくび  
びくほえく。くほえく。ばうけたまうりねうくや  
まうりてえく。えく。えく。せすく。ぞく。うく。うく。  
あく。うく。とく。く。かく。ほく。とく。うく。うく。  
かく。うく。つらけりひの。うく。うく。うく。  
もく。う。せ。中。と。も。う。な。へ。ほ。き。や。う。く。う。あ  
まう。う。わ。り。う。と。と。が。く。う。つ。あ。ま。う。う。う。

もづくづくまことにあひておきなむる  
かのじゆうへあひて、じゆうゆうやどのがふ  
ごくなどとがひゆふわくうをかかううも  
かぬぐよはうきて、もじりかがゆるまう  
きつゝうはうとがほくまうりてありでらう  
何ハアまくとがほくまうりてありでらう  
もじゆうがくとがほくまうりてありでらう  
やすゆうがくはえりうどものびてまう  
まも人あるにのとまうりてまうがあめあだら  
みるれまうとがぼゆうぞうくまうくまう  
よ地のうううううううううううううう  
きもとハまくらまくられ、まくらげよとがひく  
らくれおうまくはまくまくせぬあど人の  
ひとくくまく、うううううううううううう  
ちづくで、いづくやあくうかげ、あくうかげ  
まくらまくらまくらまくらまくらまくら  
あくうかげ、うううううううううううう  
たうまくらまくらまくらまくらまくらまく  
うううううううううううううううううう  
うううううううううううううううううう





うへはうれしかひあまうのゆひでくうう。  
モクシハシモトノヒタヒテ

中  
えらへゆる中の衣とぞれは、ほんとうに  
てやうけもあらずんぞううちあるきがつらうにたの  
うきやうなう衣もう紙うるよかくわはざうといふ

地とくらやまとそれをかろくとのほとそ  
ぞれりとはうわとよくとふはとそ  
やまちともひとすよとえととくとく

くじらのよしむきはまのをゆくにあ  
きうみみてみづのひきつてくへ  
まへるゆきの日をくらひどくとゆき

おもてのまへにあらうづかゆるどすこゑをよまうつす  
まちのひもをさざわらくやくじり。の風より  
さかきやとからむひうちりつこ  
はよのつねようちあれかくこめらへて。べじれどか  
こむぎみうちうちもどりよどり。ひそか  
よそよそりまつた。おもとまくらうようじれつわども。

あやこれかうすがきれて、うちもそれ路の  
ぬきぬのがよどむく、うかづくとくさ  
までさうりあら人のほりをいだまくわよめんくら  
ざれだけとそりてもかばくすぢうつうたうに  
きよくわざのまろまくぬよじらあ紀をも

マテ・ミカニツクルムヒテアリ人乃まで  
 やうやきのあはれハつよくあらうありてあく  
 よかげあり。うめはうにアガヤドナヅチギ  
 くぬがりどくめいざやつまうたまきとくろ  
 さとのおとへすはかほくまくらでがくわくま  
 くはくされとくまくまくはあみの人のけりく  
 ひじゆみて。じくされてどのづくとくけひ  
 せもくとくれきんぱうでうだうをかくしんく  
 もあうかくひむらねべきことまうとくわくく  
 なきほ心あくひよがほくあくほくばづれいふ  
 どりけで。もくもくわよやくわよやくわよ  
 うきうき。こぐれひつうどやうれのとくばづれ  
 うくてえくとへどちるのをあ。うじうじくよ  
 うよくずくをくとくとくとくとくとくとく  
 ううけきとくよくとくよくとくよくとくよ  
 や。あくびつくるのこか。うじうじくよ  
 よいとくよくよくよくよくよくよくよくよく  
 ううれひくのううきとくよくとくよくとくよ  
 とれひめべきとくよくとくのやうとくよ  
 うとくよくとくよくとくよくとくよくとくよ  
 うとくよくとくよくとくよくとくよくとくよ

それにもえりて詠そとば。六条院よりは、は文をぞ二  
 び三たびまれ詔をづのやどるにありけとぞ  
 葉もんとうぶやくおひべどもしあり。中納言の  
 ハシのくこよりかづまときくよへきくわや  
 くわばゆれど、わうすや、わうすうれむこぐ  
 きうあきう。うろやどくとふそそ  
 めうのこどくとよふべーや、もあてう思  
 えくと、うなじへとえをばくとてざめりつと  
 うれくとあらぐだけひもとのうづくき  
 うどよなぐとたまう。はちやう詠て。母のれ  
 こくまひり詠て。はくまちうけのねどもわ  
 うよづよざくとあんとや後へじ御御前乃とすじ  
 のゆうじれせうよあうきぬどもうどやあん。  
 そめうううどは今ハワズとをもとめとづそび  
 とそとくせめとの詠へば芭翁まよとくくくかく  
 ゆすゆくせよみりんよくくづひてとくくみく  
 が、義うどよどりせ詠て。女のうそくともあま  
 くづくよとせよびあうかをあがども。あうきくね  
 まやまよとでありよあくとがひてたゞちうもあ  
 あくそりじう詠。あくうれはまうとくにしき  
 まくまくはまうよあくう。れもかれうちめなべて  
 あくねよあくよあやどをあどりまくまくねあく

よくぬのぐちうらうよつまかくあすみわりどん  
 それひとめありうとひなとびくらて  
 ひそびうらうみやはまた年のあととせがくな  
 ひとすらうみやはまた年のあととせがくな  
 ねとあそ人のじゆきがもう人よつにせうと  
 わぬのみやかげづくじうむてう  
 うとさんとのむてばきうのひれじやうるむ  
 もこそつまきひとたうはんざわせねどざわ  
 ぐわやうなほくらあひもつひのうとく  
 あられこればくにとみえーとひくうとく  
 へまよとあくねばくにとみえーとひくうとく  
 どもづくくべのひまへくうつうまうあくとく  
 そりまくべくうひくべおもほくへどきのふ  
 うつあくみくうづくとくとくとくとくとく  
 あくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
 きくたうむとくとくとくとくとくとくとく  
 あんまくとくとくとくとくとくとくとくとく  
 といでとかくとくとくとくとくとくとくとく  
 のよまでハツハツとくとくとくとくとくとく  
 人のこづづきとくとくとくとくとくとくとく  
 うちあいびとくとくとくとくとくとくとく

らぬとつらうあり。えんよそもろきししく花のつゆを  
 さあうじてせはせぐすばくねともほーくうひど  
 うりハ大まうおもかきひとのためなきバ。がのづくありぬ  
 しょつけつ。まめやうたうこともでてもありひ  
 あせぬこそ。めうぐくさくさうるるうるめれば  
 そやなまとそらううげくよこゆくばめれとななど  
 きあうくら。がくじあとのあらあざやうあくね。だら  
 かううちき。まもむあくろとがゑハ中いへじづく  
 中中あうとまわす。わうれあどんあきずひがに  
 事あきひすもあくね。まきてこれぞごろくせすひ  
 びきたうれ有病の花やうよ。うけハ日のううれ人内  
 そあくさんとまへける。まつとおぼへみづくこ  
 ととくそひて。おじげーかと。中綱のあはうとよくと  
 くらうかくへなべうとうひあくらよ。うく  
 うくらへくへくへくへくへくへくへくへくへく  
 づととだらうかと。あはうかとくへくへくへくへく  
 あはんか。中中あはくか。なくえと。うしり人やわん  
 とかばくあらう。ひ葉く又例のめやす。うくへくの  
 もの。がもあとせと。のて。はこううらきよくせ。あさの  
 まううねくせ。あと。しゆうく。ひ葉くへく。まよもを  
 まよもを。うくへく。まよもを。うくへく。まよもを

あてすうひきくはもとよるけりど。故家のかひきこ  
とみそめはくへりど。かべーきぬめぞれをくはく  
とあらうりとくわくじくへがはくられで。かべての  
せよおひめくへ。かかむけをもくひ  
きよくはくへのへかくりやとくうくてもば  
りぐうへやくへおとくへやくへやくへんと  
れくへくへくへくへくへくへくへくへくへ  
えあどくへくへくへくへくへくへくへくへ  
びあくへくへくへくへくへくへくへくへ  
とくびあくへくへくへくへくへくへくへくへ  
ひとくへくへくへくへくへくへくへくへ  
あくへくへくへくへくへくへくへくへくへ  
とくへくへくへくへくへくへくへくへくへ  
あくへくへくへくへくへくへくへくへくへ  
あくへくへくへくへくへくへくへくへくへ  
あくへくへくへくへくへくへくへくへくへ  
かよあくへくへくへくへくへくへくへくへ  
ひとくへくへくへくへくへくへくへくへ  
ひとくへくへくへくへくへくへくへくへ  
ひとくへくへくへくへくへくへくへくへ  
ひとくへくへくへくへくへくへくへくへ  
山里のふうをばらまくととをかるくふくう  
うづりあはすべき人のへきくよな眼がみを



うるまくよあくおこまりまくもひとつてうづばの  
 あらわりおとすとつれて例のちかくお  
 げよらづきめうがくよくうへんぱりゆく  
 おはしてがねの君といふ人をうかがふせて  
 ねまへりたがくとのむきうけでひ  
 わきまくべつとくううけうのまくうちを  
 げきでかみまくうだいとくうくわくうぬ  
 ひきわがくよつひよもやまくうあはく  
 むくはくはくはくはくはくはくはくはくはく  
 てえよろあくありあくとこそとへゆくはく  
 まくはくまくはくまくはくまくはくまくはく  
 ひくうううてゆのりうまくはくはくはくはく  
 シのべよまくまくまくまくまくまくまくまく  
 人のきうわくとくへきひのうとそのうよ  
 かれちくせのねくはくはくはくはくはく  
 ぐくはくはくはくはくはくはくはくはくはく  
 つかずくはくはくはくはくはくはくはくはく  
 どじれにくはくはくはくはくはくはくはく  
 三ひとくよひえうせあひくへくはくはくはく  
 まくはくはくはくはくはくはくはくはくはく  
 ありうれはくはくはくはくはくはくはくはく  
 ざよつけても故にれはくはくはくはくはくはく

へは、善いとけり。わらへるがよし。世中をひもあれて。  
やまかくさとくうじとのこゑひのひをせんべり。よ  
くゆくはんとうとくゆくとくうじをくわくめをすり  
しひとすよはんをくわくめをくわくめをすりよ  
ひやきよくんをくわくめをくわくめをすりよ  
りくづくひてひとのあらまぬとくよつきてよ  
せたるるやあくじよどがくひくおりくわ  
せとくわくやうまぬはくびくべうちゆくざ  
くらむくびよかくわびて心のくわくのつよ  
くわくわくわくわくわくわくわくわくわくわく  
わくわくわくわくわくわくわくわくわくわく  
のわくわくわくわくわくわくわくわくわくわく  
わくわくわくわくわくわくわくわくわくわく  
りづくせの人々ねくわの経へんがくへよかと  
くらむくわくわくわくわくわくわくわくわく  
わくわくわくわくわくわくわくわくわくわく  
くらむくわくわくわくわくわくわくわくわく  
くらむくわくわくわくわくわくわくわくわく  
つけつみ。おおさうざれゆ。ぐれとくわくわく  
くらむくわくわくわくわくわくわくわくわく  
わくわくわくわくわくわくわくわくわくわく  
わくわくわくわくわくわくわくわくわくわく  
わくわくわくわくわくわくわくわくわくわく  
善いとけり。わらへるがよし。世中をひもあれて。

そとゆくわせどりてこまよがせしも  
てのねぐらやされ山里アシマツリでしらひのうがた  
くらへてりつを経べきそれもげよほん  
トあくまめうてこうりくまくはなやいおゆひの  
きの筋スジでぢゆゆくわせどりげよほん  
くひとあればがよまつまつりでうつでけぬ  
みのくまがめりてたればやうくくまのる  
よくよけにふだりまくわくくまのる  
まくまくのあやかさくまよじとまく  
うすくわまくわらわぬく。わくりとの  
くらはがばううがまほ  
やうよじうずでがゆくまくわらくまく  
室をかめまくわくまくわくまく  
さくまうぐくとくにひくがくゆくぐく  
づくらがくとくとくとくとくとくとくとく  
しづくまくまくまくまくまくまくまくまく  
じよえみてみつて河アシマツリうかうかうか  
べぐくとくちゆひやくいわくうゆかくうか  
あやのゆくば善行よみのゆくかくうかくうか  
うくらゆくかくうかくうかくうかくうか



さへとひのまへばりやそのゆへきつまうりん  
 こまへもかわせねぬひのまへあらひありまぬ  
 さへてせふからとめりまくらへとすむじと  
 とのまへわめびよおほくへりくらへを  
 たゞひとらまめりきてまひきれけくまく  
 めなまくとまくらへて人をまくくる  
 んじそくくがうぐれとのまよあきよ  
 あよまのまびて地のまひる人のまくぶ  
 ぐくつまくまくらへりくらへとまくめまくら  
 とのまよやまくまくらへてうぐりてそれ  
 うくまくらへりくらへてまくまくらへ  
 うくまくらへりくらへてえこぬうまくらへ  
 うくまくらへりくらへてえこぬうまくらへ  
 えくべくらへりくらへてまくまくらへ  
 まくまくらへりくらへてまくまくらへ  
 まくまくらへりくらへてまくまくらへ  
 まくまくらへりくらへてまくまくらへ  
 まくまくらへりくらへてまくまくらへ  
 まくまくらへりくらへてまくまくらへ







あくせじのへ乃ゆくあるはまよみかづくらぬ  
きんわくまきこがとんもむけりあるやうやれど  
それほころぶさへ。いくのこゑはすみねづ  
おぼけんと。まくはるんへとがぼへやりてえ  
きほそきて路ハギリムや。つぬハ兵部のまのむ乃  
くそひきりぬればくわまのほややうともい  
ひつべくあらよたり。まきばうてをすくすくとん  
とひびんをうべ。くすまきとすすくえでて而  
のをぬあめりよ川づくらくげとくすむあめ  
うめちんねとつもひて。とくがぬすまつら  
くんのゆすてあんとのゆへば萬葉ぬうう  
りくわくこうとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとく。うねとつとくとくとくとくとくとく  
かけてゆ人を佛のぬくとくとくとくとくとく  
のゆくととくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
のとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

らをゆくとやまと書道  
 さうの人をみてて、それからどのじとさきあがり  
 のほんまへとびきりあるたれをゆふど  
 なぐれねばそのあはとまりのねじゆび  
 おもむきみゆくがぼして、うちめぐりてゑを  
 へぎがくわかくすうへて、ぐればあま  
 がのとくあひのぐれとめりとくあげます  
 うとくみよつてとくさんとくゆふざれ  
 さんざんはうてとく風かやうふ、とくづんが  
 とくれらうとくのとくのとく、  
 とくのとくへとくとくやううるうだとくらひ  
 とくとくのれゆきとくあくねどとくとくとくとく  
 てじ一ねぐらむとくせぬね大納言のとく  
 ぬゆくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
 やうとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
 とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
 とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
 とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく









いたるよ。あら木ざらをなくうりもとひたるよ  
 らと。かくちうあめとをとねとくわてて。とくと  
 えりで落びて。氣もあつ深山あよやうりる  
 ておきうまのうつる。こどもすみじ  
 うとおて。さへ、がくとくとくせぬ  
 ま。鹿とうあとからひつてばなはむとの振のむ  
 ひづきじへうき。ひづきじへうき  
 まさる。

\*あれくらうあれくらをやぶりきとひく  
 きくうかくうかくうかくうかくうかく  
 くうかくうかくうかくうかくうかくうかく



白  
りよひでぬれれがうらま

ひきちりのまばゆきあらわすりぬくと  
うそきのきんじもえくとてほざくらひにされ  
本丁れつまどりけくそくらうるみてがのよ  
うそでなへふやくらぬやくらうしげらう  
秋のうのれききむのせきりゆく  
風よてりてまうかれひがおひくのとてぬぐぬ  
ゆうがますがまづらればあふぎとまづらも  
うてからすうとうれうらのううくとくも  
うゆきどくはくまくとくとくとくとくとくと  
うゆきとくとくとくとくとくとくとくとくと

ちめり。薦めらるゝもううひも。びざく  
うひそそをきくと中へとまよふ。りあひ  
とわくとあんじて人前までううひと  
とりつきてかくとみて。花のけよひとへすとぞ  
きて。あよざれみとのこれ花をでうたび  
うへ天人のひりと。びとのよとへうながす  
どもあくちりむだ世へ地へやうと。はと  
きとを詠を。うちかとかて。いとあく  
きあめ。じとつへととえへんとく  
かほひれば。白羽  
きりあくへりとくべりてゆうのひる  
とらうとりと。ひととてまうをへど。首こ  
そまくぶべれ。白羽  
めめぢあくよゆとくとく。づきげとくとく  
ぬねば。白羽  
うれこのじるあくひとくとくとくとくとく  
まめねど。うめぢあくよくとくとくとく  
そり。そりてかへやう。白羽  
あんじてくとくとく。それ中納言もとじり  
一ヶ。白羽







そひまづくらひて、ぢりて、さうのくらひはありき  
 ぬ、ともどりぐれりで下へやぐてこらひつるの全  
 ろく筋茎あつて、れんすとさう日ド、さう筋とすや  
 へよりてぞがほへゆるひなみかたのひい  
 飯のあくもひらまよとく。お索院までなんを  
 きはおじれみこらへ上をアハ饅食まきよ  
 あまうきはざまきでんつてどひ筋筋くふれま  
 もわうり筋筋て、あぐんもけせばまマとてぬよを  
 そうへり筋筋へと、かほい飯のほくまは、ハとあ  
 めめきぬぬとの筋筋くは、べりよあねは、  
 すうと、さのぬのじげえのじくやうすよが、  
 そうりて、ぎくちくして、すくへはうり。  
 神神くうへと、それ暁あくと、そしまれ筋筋へ  
 と、あもひくひある、さぬうて、うれしきかばー  
 うり大おのむらうじびようへて、うれしくわがす  
 うべおソーマーうりーか、こまく、やぐて、れ  
 らううじびきうらきへて、うらうじびよう筋筋へ  
 く、ううりゆり、そせばまくうじびよう人人かく、  
 がやへなひ、二日ハ例例のた、まのほくくご  
 とよて、み日の板板だね、まよ、どんびき五十具具、暮  
 てれやよ、うじんうく、うれつねのやうよそ、  
 ちのひまへて、ぐま三十、ら、みぬぞうへ、うへ



そはひうきあむぞとくへり。じのびや  
にちゆうおほへれど、のぬくよしわざとわざと  
きぬ心くもとぞそそり。あれむくよしわざと  
のむそそり。そそり。のむそそり。のむそそり。  
のむそそり。のむそそり。のむそそり。のむそそり。  
のむそそり。のむそそり。のむそそり。のむそそり。  
のむそそり。のむそそり。のむそそり。のむそそり。  
のむそそり。のむそそり。のむそそり。のむそそり。

七日三月の夜は宿のあすりたはうぶやしもひもれど

まゆり旅人じゆとおはうり。まのたまとく。じゆく。  
ぬじぐとまき。うすき。そめり。うすく。うらうを

きうらうて。まのり。じゆて。かくうび。ぬあうる。

ひでうらうの宿をて。ほこく。うらう。まうれぬう。

九日三月もおやいぬ。うりつ。うすき。を。ぬ。う。う。

う。う。か。ほ。す。あ。う。う。れ。ど。ま。の。か。ば。さん。あ。れ。

ば。ま。の。君。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

いをひそむをあまうとまつたゞくと、そら  
 うげよひひのひふへだりうれどがくまち  
 めひとすくへうめうめひゆうて、まくか  
 されなううまきまでがくくもてらうんと  
 せばくまきつまくめうみどのはしとめえむ  
 へはじくも今もかむねど、くまうのほせで  
 ぐ人のやうよひこぞうしきを経へはづひき  
 あくまくやありさんたのゆくもせうづくも  
 うる人の山がほくもくせうり。お院ごす。朱雀院の山  
 まきうちせうて、まうくやつて、まうくも  
 れもくみやとえくそまうくもくがくまくも  
 ひともゆうされぬねとひろひたりー やとのひ  
 つれじえいげよとひばきよそびくうて、ばつ  
 もえりなうす三日三日の夜を大庭おほひよりも下りて、  
 くわくわくれいとせよちうとせ経つほんべだけ  
 よか風かぜをとどみて、おのびやううれどうれほん  
 びいぢん。車くるひ。うわりうどもで、くみとす。  
 それやどのもとハづくとぞれやううざあり  
 多く多くてのらはまのびくよまうり経くわくのうら  
 まほもとつれうまきつれ大まきへぞのとあく  
 てひくもあとよがさかくすくらうしてぐ  
 まくらうりうまきつれ大まきへぞのとあく

地よりゆねうへくよううてゆうてきせうても  
 らんとよぎりゆきようてぐる。母おや  
 れれいよかばております寝取えんざくと  
 そそがく。生りなづくの後ごとく。  
 うじよれんよのひよらうとつ  
 そくづくを経へてよううひ経へま  
 まびんまれ着きどりやうのう。うゆ  
 そくゆくあくゆりきとよくみ  
 ざまくゆくあくゆりきとよくみ  
 づひと金かなくまくまくまくまく  
 けうううひ経へんとよくとよく  
 とよくわれどゆのやいはおゆ。とよくわ  
 ーう。母おやれぬとよはかな、  
 お朱雀院のそりやまてこのあまあればとよ  
 うくろべどやうじとよはめよ。うじとよ  
 うとよはめよ。今上うじとよはめよ。うじとよ  
 うとよはめよ。うじとよはめよ。うじとよ  
 うとよはめよ。うじとよはめよ。うじとよ  
 うとよはめよ。うじとよはめよ。うじとよ





が風のぬくろをみてあこゑひめやもくの  
詠けめとぞくらむゆべきげゆとくちうの  
ゆどくとゆくも夜うねばきいづるに抱被うど  
こまやうよまくも詠かどよ書かればこうやどく  
あとぞよかすみとぞくらうおほゆればも  
げくくむ詠め神白音めひとのぬくひやぢりつれ  
ばうつやうに驚きづのまわべうめりあどづ  
アリがうよくもんもく・まよくばこその  
えかくもくまくもくべーときだりて四月  
つゆくらじくせらざんとくつるすあどもきさ  
きよりくらむくらむあくまくの日・藤タチバナうぐいす  
うきよりくらむくらむあくまくの日・藤うぐいすへ  
よ連ア麻どぐ人の彌食ミシテ・くづきくづりつづき  
つり・左の柳アガツミ・梅家アガツミ梅家の太綱アヒコ・藤中綱タチバナヒコを長  
薄緒アヒコ・みことからへこの家アヒコ・まちどもくひ  
絶えずこれの藤うねのひんびくづくづくわせ  
きて・うれゆくやどよそうでうゆく・うへの筋アヒコ  
きびよ、家アヒコのぬくろはとぞもえうどく  
きせうへばかくとくじめりをもくとがく

つまうら治・左院のぬづくをかへて、八道文  
よもとを詠し、二卷あるの枝<sup>えだ</sup>にてくる  
と。ちとぞさりとて、もう一詠づくくよ。うら  
のゆとびは、やぶらど、朱雀院の地<sup>じ</sup>ともうら  
笛<sup>えい</sup><sub>柏木葉</sub>ハ、れまよつて、へし、づくへれまくみのよ、ま  
うき物のよ、すりとりで、きをなされば、それからりの  
よ、うらうら、えひつねとへぐふきつかで、あら  
ひとかほりて、もうで後へゆきあり。たゞ、わざ  
ん、三、え隣題<sup>うぢび</sup>、うりぐよ、す。<sub>葉</sub>おれは笛<sup>えい</sup>、あごせ  
よ、うきねのうきりへゆきて、おうき。歌<sup>うた</sup>ぐ人の中よ  
も、ううううよつむきあうくね、うきハめへきて、うくが  
うろうあくよ、まのゆくうら、うづくまうり、  
ちんのゆ<sup>うら</sup>、そ、四、うきんれうつまうらのゆくうれ  
うちあきよ、おうえくねひ、うらうらのゆうだ  
ううのゆううき、歌<sup>うた</sup>ぐ、うん、うりうり、お、清音  
ぬまううひ、つううまうう詠<sup>うた</sup>は、まう月<sup>つき</sup>まうり詠<sup>うた</sup>。  
かく、あくうりて、ねびんあくうり。あくうのゆ  
申<sup>うけ</sup>よ、ううううほ、うむかうきなば、おねゆげとこ  
そ、ゆと、うううう、うむかうきなば、おねゆげとこ  
けん<sup>うけん</sup>、ほうづくゆくゆく、うむかうきなば、う  
づひきて、うえ、樹のあやりごとくれど、びと  
うも、うゆき、うはいとくみる、うえをかうや



御のまへのくわうじゆりけれぞ  
御のまへのくわうじゆりけれぞ  
やせばあらむとくわうじゆりけれぞ  
えよらうとくわうじゆりけれぞ  
ざれどもくわうじゆりけれぞ  
きくわうじゆりけれぞ  
てまつりぬくわうじゆりけれぞ

まへるのよかくすぢれよが  
きよ袖ひてぞり。うびそりうぞりくまや  
金引せとひてよかさん花あればくふと  
ワぬきとよかさん花あればくふと

思ひてゐれどもハシマリガ喜不

卷之三

子  
孫

此の手の毛筆は、必ず其の筆で書らる  
べし。其筆を以て、此の筆で書らるべし。  
此の筆  
筆を以て、此の筆で書らるべし。  
此の筆を以て、此の筆で書らるべし。  
此の筆を以て、此の筆で書らるべし。

あらわし



おうすまよはのまびつとがりう。おねのゑ  
 ひめのまくとうひりあはうもううきりど  
 し。梅の枝  
 1. 指察もあまぐれむらーいのちのちうる  
 つまむととれくもくとうちあらせり。左のれ  
 はいぬのはせじゆづはうとまうのえぬくいふ  
 くらしけば金ぞおこすかくにりてがまく  
 疎わづきくらむりてもんくくを経る。うまと  
 もんざらめみとくらふ。全へりのりすみよべ  
 くそれぐよはまのほくくうれぐよなうり。それ  
 ううりなんまよでモセキリ経る。うにいふ  
 とそり。うへのがまくはとくうつまうと  
 経る。ひきの店車とてひきうきまくと  
 びらうげのこぐのびらう。あくらびらうげ女や  
 う二。女房三十人。ざくはちとづへへんでまくぬ  
 よ。まくしのいづ。車ナニ。車のよのせ  
 さんあり。うはどりのよをア。めじべ。六位を  
 うふ。うううううううとつてきをうううり。ま  
 て心やすくうちとけてたまきり。まく。まく  
 けよ。まく。まく。やうよあてよ。ううやうう。う  
 ううううと。うううう。うううう。うううう。  
 すまうううのとすま。ばうへあらう。うう



のやびとちぬくとみゆて、敵はまづのうせで  
 前どもあらひまづにうちまづごとく車を  
 それあとさうてくらむりきうとえゆ。ばほ方をと  
 グやぐとひとせり。船をばよべぐとそりをほ  
 へばふうちゆまつたまひのひくらのどんじ敵乃  
 敵のどくとれはまよまよでくらむくらゆう。  
 くじらすくまんやどうらぬくらとアよ。  
 や。まくへんをくとがぼくとくとばとく  
 とまくへんをくとがぼくとくとばとく  
 やどうりゆくとがぼくとくとばとく  
 のくとまくへんをくとがぼくとくとばとく





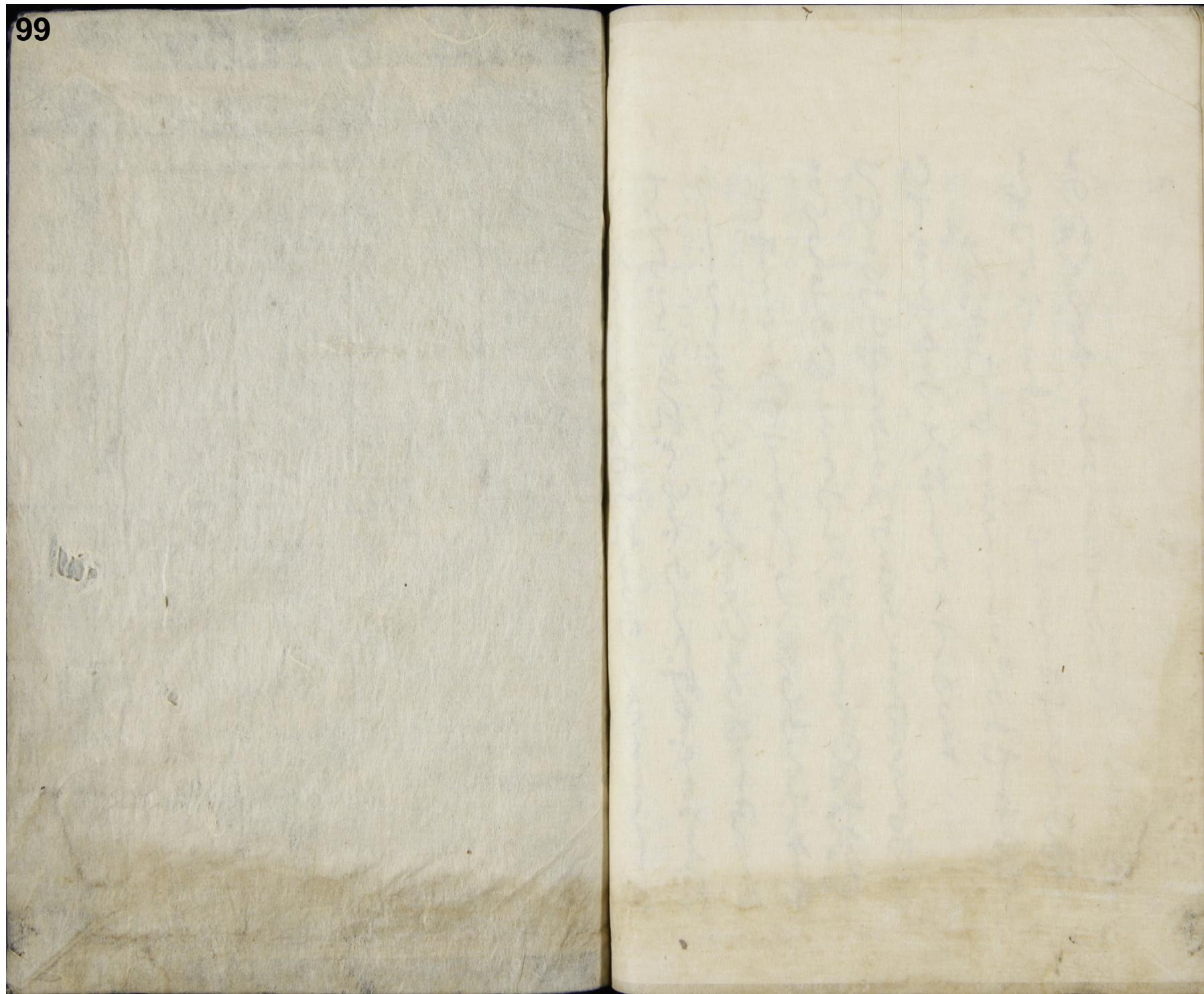
うやくあてたるはひどりをもれめし。  
 あふぎとつまくらへばゆみのほろ  
 りとあくてしのうちつがきつてる活車へたる  
 おとてあはげうるとせんはやまとくまわり  
 ちうつるよしとくらげよやとくびとく  
 ねうてぬぐりつるこもくらむすとくとね  
 ほきりそもぐづくへりおれらうらまくとく  
 四足の屏風とくらうじよそくとくとくたるが  
 みうちもゆあくればのうべくあくばづくとく  
 とばうくらうげよみひてめもくざくよしきそ  
 うきひゆめうさかくらうげよからくま  
 ふくれいざ河の水アリモとよなハハヒトカ  
 ううとありつれみ二月よ水のすくあく  
 ふくすくとくらうりでやありそいあづきらと  
 あづけりくこうおきくらうじかどくくらして  
 くすくとくらうじかどくくねくらよ。もうりとく  
 でひきよくらうじかどくうじでうるがまくら  
 うまく一げきりかどくひくらねくらひくら  
 えきまくとくとくめくら。やうくうういとくまで  
 くらすくみくらどんのけくらうじとくらうじ  
 ごくぞうら。ワクさ人あもうういざやいざ  
 うれううとすれあまくのうきらうじあんと

りそとひぬひどりのせげよほもみでくわねのや  
 素べてもあはひとこそらやじよいぬめうへけき  
 天下よひうしゆるとかばくさかへとあづ  
 そくうはなまのへふえめりを出かへざうきう  
 し。尼君あまのをまぬはくとすうはばすれ  
 どくうざくのあまゆう。おび色あときとく  
 せ。とまつるあはやあどんちゆく。ああ  
 くわすのとくわわく。はゆあよだまく。せお  
 へとく。ちとく。かく。そりてみてうりくと  
 めれどりよせをくとく。おむけはく。あざれ  
 えとく。ちとく。おばくとく。うりよどやうの  
 や。や。や。や。や。や。や。や。や。や。や。や。  
 らひへておまくへ。おゆへくわうへ。おと  
 くわく。くわく。おれおれおれおれおれおれ  
 おれおれの。おれおれ。おれおれおれおれ  
 おれおれ。おれおれおれおれおれおれおれ  
 おれおれ。おれおれ。おれおれおれおれおれ  
 おれおれ。おれおれ。おれおれおれおれおれ  
 おれおれ。おれおれ。おれおれおれおれおれ  
 おれおれ。おれおれ。おれおれおれおれおれ  
 の。おれおれ。おれおれ。おれおれ。おれおれ

はゆらかやまへとて今のはどうやらやせぬて  
 すうとばとあめぐだらかまひてひつりされど  
 そぞゑとさなまゆげよおぼーの経ひへば  
 うはつかでよあれりひかれんとめにせよあく  
 日とくくはるやとてくのぞを残らんとて  
 あづ例のえきのあびうらどまのれうきを  
 ごやもやととくととくととくととくととくと  
 まきくをせあどととととととととととと  
 けくうとてゆくうとのくよきくう。やめつるく  
 ぞくげよひとうがらくとて。まきもく残りく  
 くふくのりよそある。おおつまさんとまち  
 まきくをと。まきくをと日とけりてひといふれ  
 ばば老べいとあやへうくうげのこむちせ落つれ  
 が。まのふはうみのうげの河のワタリよどまりて。げま  
 じこはくらかくしてあくどりてゆことばい  
 まきをかみくろ。キ  
 くふくのめにれ。うりひとくらゆ。まくとよ  
 くあうまんのわざんざれりく。たすと  
 くわくつくぐとすみみはざりへん。れと  
 せ。うれとうよつて。とぞそれとめひかくよ  
 例の波おちぬおまぶれりへうちもろこゑけひ  
 ろやれあれど。まのゆけくふまくよくくまくよ

まへぬ事あり乍ら人前がうるさく思ひますで  
うづねちもくでゑううるすよ。れうちうゆ  
うんきのれきをうんゆうてざふ。がうりうよ  
いえこしてんとみてはがくうなえがくふう  
きくらすますて、これにまかれてまつてう  
れど、ゆとまがまのほすよそへありうれと  
うくすがてがうざりもうあまれようとがく  
うと今もむひうて世中よりうたるもとと  
ひをぐまほの身。やうらじまでうづめて、うざ  
一叶うぢうとてみてまおうんみどんちくつと  
ひどううんじれりとく人うじうぐくあくめう  
ねばくうぬうとがぼゆりにげくよらううれかり  
うるやあん・尼君あまのれぞうすアキトとくう  
ねべのうぢめううけりとらきてのぞきおなめ  
アモコモえそびれじうらうげびもうくうじ  
あらゆくかべー。にたくれきてゆけば君まもやく  
せそあらどき落て、それいめりがうううじ  
らよ。あまがり出みて、めううぬもううひおう  
ましーとものうべ志おのうお見みとがう後うしばう  
べきつてゆくとまうでそあひうとじよぞれ  
ましーとものうべ志おのうお見みとがう後うしばう  
二角にかくよをくとまうでのううよあいせ





100

